

第3章



推進体制と進行管理

- 1 推進体制
- 2 進行管理

第3章 推進体制と進行管理

1 推進体制

男女共同参画社会の実現を図るため、条例に基づき、市、市民、事業者がそれぞれの責務を果たしながら、協働により推進していくこととします。

(1) 市、市民、事業者の責務

❖ 市の責務

- 男女共同参画の推進に関する施策を総合的に策定し、実施します。
- 施策の実施にあたり、国・茨城県及び他の地方公共団体と連携を図るとともに、市民及び事業者との協働に努めます。

❖ 市民の責務

- 家庭、職場、学校、地域その他の社会のあらゆる分野において、男女共同参画の推進に努めます。
- 市が実施する男女共同参画の推進に関する施策に協力します。

❖ 事業者の責務

- 男女共同参画に関する理解を深め、その事業活動に関し、男女共同参画の推進に努めます。
- 職場及び家庭生活並びにその他の活動との両立ができるよう、雇用の分野における環境の整備に努めます。
- 市が実施する男女共同参画の推進に関する施策に協力します。

(2) 笠間市男女共同参画審議会の運営

市の男女共同参画の施策を推進するための調査審議機関として、市民、市議会、事業者、学識経験者、関係団体の中から委嘱する委員で構成した審議会を運営し、市の事業の進捗状況について意見・助言を行います。

(3) 庁内の推進体制の充実

市の男女共同参画に関する施策の総合的な推進を図るため、笠間市男女共同参画庁内推進会議を設置し、施策の推進及び調整、市職員の男女共同参画意識の向上に取り組みます。

笠間市男女共同参画推進条例

市

市民

事業者

推進

笠間市男女共同参画庁内推進会議

市の男女共同参画施策の推進及び調整、市職員の男女共同参画意識の向上に取り組めます。

キラリかさまプラン（第4次笠間市男女共同参画計画）

意見・助言

笠間市男女共同参画審議会

市の男女共同参画の施策を推進するための調査審議機関として、計画の策定や各事業の進捗状況について意見・助言を行います。

2 進行管理

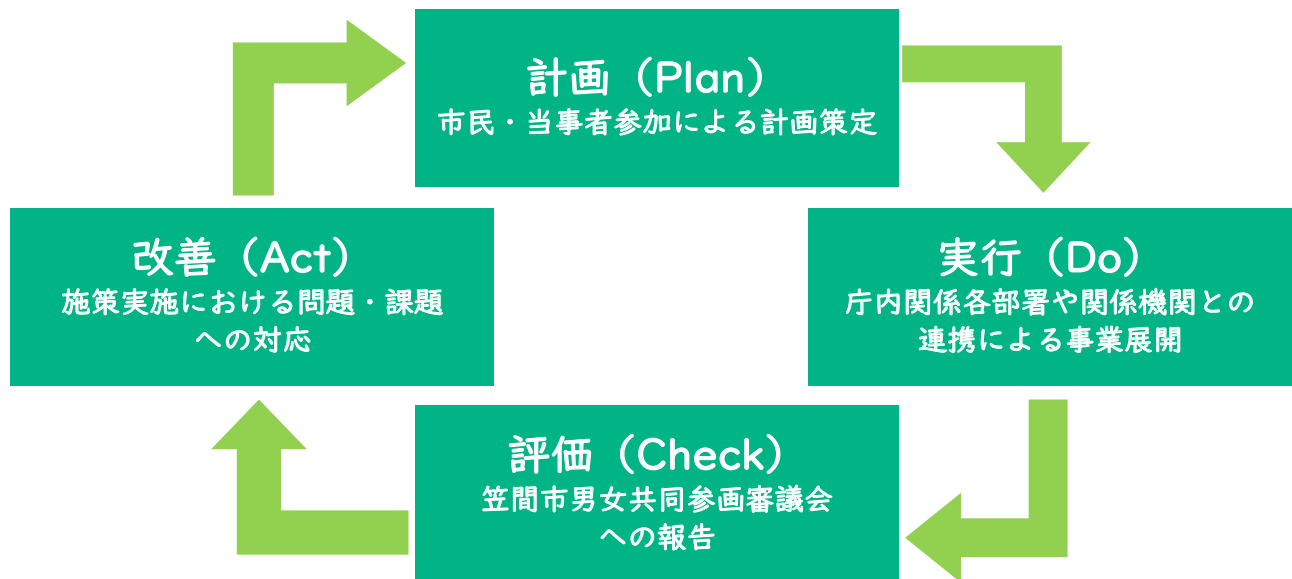
(1) 進行管理

計画の進行管理は、毎年、男女共同参画施策の実施状況を笠間市男女共同参画審議会に報告し、その結果を市民に公表します。

(2) 指標項目による管理

計画の推進状況については、指標項目に掲げた目標指標の数値及び5年に一度行う市民意識調査により把握します。

<PDCAサイクルの流れ>



第4章



指標項目

- 1 目標指標
- 2 參考指標

第4章 指標項目

I 目標指標

基本目標	施策	項目	現状	目標 (R9) (2027)	出典 (R4現在)
I	1 男女共同参画の意識啓発と情報提供	男女共同参画社会について実現されていると思う人の割合	15.8% (2022年)	30.0%	市民意識調査
		デジタル媒体による情報発信数	—	10件/年	秘書課
	2 あらゆる場での男女共同参画意識の醸成	いいパートナーの日認知度	10.7% (2022年)	15.0%	市民意識調査
		学校教育の場において男女の地位が平等であると思う人の割合	43.3% (2022年)	55.0%	市民意識調査
		男性の育児等参画促進講座開催数	1回/年 (2021年)	3回/年	秘書課
II	1 男女間におけるあらゆる暴力の根絶と人権の尊重	配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律（DV防止法）の認知度	56.0% (2022年)	100.0%	市民意識調査
		配偶者・パートナー・恋人からの暴力等について相談したことがあるという割合	25.0% (2022年)	100.0%	市民意識調査
	2 各種ハラスメントの防止	生涯を通じたところと身体の健康づくりの推進	2回/年 (2021年)	3回/年	健康医療政策課
	3 生涯を通じたところと身体の健康づくりの推進	安心して暮らせるまちづくりの実現	15.6% (2022年)	20.0%	総務課
III	1 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進	キラリかさま優良企業認定数	5事業者 (2021年)	20事業者	秘書課
		審議会等における女性委員の占める割合	32.8% (2022年)	40.0%	秘書課
		女性が一人もいない審議会の数	5 (2022年)	0	秘書課
	2 政策・方針決定過程への女性の参画	男女共同参画人材バンク登録者数	35人 (2022年)	50人	秘書課
		職場における男女の地位が平等と思う人の割合	26.5% (2022年)	30.0%	市民意識調査
	3 女性の職業生活における活躍支援	市職員の管理職に占める女性の割合（部長級以上）	5.9% (2022年)	10.0%	秘書課
市職員の管理職に占める女性の割合（課長級以上）		18.2% (2022年)	22.0%	秘書課	
IV	1 ダイバーシティ意識の醸成	いばらきダイバーシティ宣言団体数（笠間市を除く）	1団体 (2021年)	25団体	秘書課
	2 生活環境・職場環境の整備				
	3 広い視野、多様な価値観を持つ人の育成	ユニバーサルマナー推進に関する講習会参加者数	30人/年 (2022年)	50人/年	秘書課

2 参考指標

項目	現状	出典	
市男性職員の育児や看護、介護による休暇取得者人数	42人 (2021年)	秘書課	
行政区長に占める女性区長の割合	2.6% (2022年)	総務課	
家族経営協定締結農家戸数	121戸 (2021年)	農政課	
笠間市男女共同参画推進条例の認知度	22.0%	市民意識調査	
ワーク・ライフ・バランスという言葉を知っている人の割合	52.6%	市民意識調査	
政治の場において男女の地位が平等であると思う人の割合	14.4%	市民意識調査	
地域活動に参加している人の割合	64.9%	市民意識調査	
暴力を何度も受けた経験のある人の割合	身体的な暴力	1.0%	市民意識調査
	精神的・心理的な暴力	4.5%	市民意識調査
	経済的な暴力	1.0%	市民意識調査
	性的な暴力	0.7%	市民意識調査
市政の各分野において男女共同参画 社会の視点が反映されていると思う人 の割合	都市基盤	27.8%	市民意識調査
	生活環境	27.5%	市民意識調査
	健康・福祉	51.9%	市民意識調査
	産業	29.5%	市民意識調査
	教育・文化	49.1%	市民意識調査
	地域づくり	36.5%	市民意識調査
	自治体運営	30.6%	市民意識調査
ダイバーシティまたはダイバーシティ&インクルージョンの認知度	29.2%	市民意識調査	
ダイバーシティ社会を必要だと思っている人の割合	75.6%	市民意識調査	

※市民意識調査は令和4年度実施